



# 図書館だより



新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます！在校生の皆さんも、新たな年度を迎え、どのような気持ちでお過ごしでしょうか。

大学生活がより豊かになるよう、皆さんのお役に立つ図書館からの情報をお届けしたいと思います。

## トピックス

### ■ News！！ 月に2回、日曜開館の試行がはじまります！！

4月から2回、日曜日の午後、図書館を利用できるようになります。

土曜日と同様、大学入館には学生証が必要ですのでお忘れなく！

◎開館時間：13:30~17:30(4時間)【学内者限定】

※開館日：実習や試験を考慮し毎月変わるため開館カレンダーをご確認ください。

※利用可能なサービス：図書閲覧・複写・検索・印刷・自習

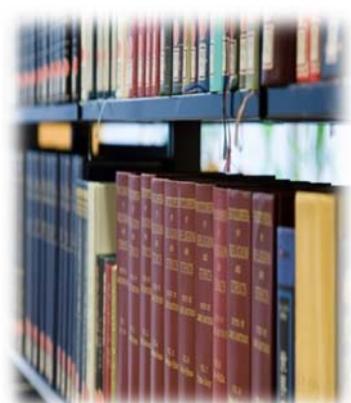
≪注意≫貸出・返却・延長・個室利用・DVD視聴・複写文献受け取りはできません。

### ■くつろぎコーナーが増えました♪

守田図書館長からフワフワの愛らしい羊のマスコット・メルくんをご寄贈いただき、図書館の新しい癒しスポットになっています。



メルくんは、ご意見箱の投書にお応えして、館内であたたかく過ごせるよう新調した新しいひざ掛け10枚のそばでみなさんを見守っています♪ひざ掛けはスナップがついているので、巻きスカート風やクッション風など色々とお好みでアレンジできます。



- 📖 図書館だよりは、毎回ちょっと新しいニュースをお伝えするとともに、お薦め図書や耳よりな図書館利用方法などを紹介します。
- 📖 引き続き、看護の歴史を川原由佳里先生に紹介していただきます。
- 📖 第11号は、基礎看護学の内山孝子先生にお薦めの本を紹介していただきました。

## 図書館司書からのお知らせ

### ■ 選書ツアーのお誘い！

今年1月に選書ツアーを実施しました。参加してくださった皆様ありがとうございます。学生の皆さんが選んだ本は4月から学生選書コーナーに並びますのでお楽しみに！今後も、書店で好きな本を直接手にとって選ぶ「選書ツアー」を計画しています。春と秋の2回、授業後の夕方を予定していますので、みなさん、ぜひご参加ください！

### ■ 図書館蔵書検索システム「情報館」の画面がリニューアル！

4月から検索画面のデザインが新しくなりますので授業や研究にご活用ください！



## 図書館ビューティークラブ (TBC)

TBCは、本や図書館が好きな学部生や編入生、大学院生による有志の会です。

これまで、学生さんならではの目線で、本に親しみ、使いやすい図書館にするための数多くの提案・企画を実現してきました。例えば、購入図書を選定したり、好きな本を紹介したり、図書館にソファを置いて「くつろぎスペース」を作ったり。いわゆるサークル活動のひとつですが、TBCのユニークな点は教職員が組織する図書館運営委員会とタイアップして活動をおこなっているところ。TBCの企画が実現しやすいのもそのためかも・・・。

本学の図書館は、10万冊もの蔵書を誇る看護系大学憧れの図書館といわれています。もっと有効に活用してもらうには、学生自身で使いたい図書館にするのが一番です！こうするともっと図書館が使いやすくなるのでは、といった声を一緒に実現させていきましょう！

\*私たちと一緒に活動して下さる学生さんを大募集中です！まずは見学からどうぞ♪  
興味のある方は、大塚 h-otsuka@redcross.ac.jp まで、ご連絡をお待ちしています！

## 広尾館開館スケジュール

通常開館	日~金	8:50 - 20:00
	土	10:00 - 17:30
	日	13:30 - 17:30
本学在籍者限定		
短縮開館		8:50 - 14:00
休館中開館		8:50 - 17:00
閉館		

4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

## 歴史発見！ 第5回

昨2016（平成28）年は大学設立30周年で記念行事が行なわれました。「日本赤十字看護大学125年史」も発刊されましたので、ぜひ手にとってご覧ください。さて歴史発見ではひきつづき、戦後の本学の歩みを取りあげます。

連合軍の占領下において本学は、看護教育のモデルスクール「東京看護教育模範学院」を聖路加とともに運営。それにあたり本学は聖路加と同等の教育機関となるべく1947（昭和22）年に病院附属の養成所から旧制の女子専門学校に昇格しました。当時において旧制女専は、女子では最上位の高等教育機関でした。

1953（昭和28）年連合軍の引揚げにともない、聖路加女専の校舎が接收解除となり合同教育は終了、それぞれの道を歩み始めます。折しも学制改革により旧制専門学校の大半が新制の大学・短期大学に改編されることになり、その流れで旧制女専のなかには大学に昇格した教育機関も沢山ありました（例えば聖心女子大や実践女子大など）。

しかし日赤も聖路加も、大学教員となる人材の不足から、この時点での大学への昇格は諦めます。1953年（昭和28年）に本学は日本赤十字女子短期大学を設置。1952（昭和27）年には国内初の4年制看護系大学高知女子大学家政学部看護学科が、翌年には東京大学医学部衛生看護学科が開設され、1964（昭和39）年には聖路加看護大学が開設されました。残念なことに本学が大学に改組したのは1986（昭和61）年、短大設置から33年の年月を要したのです。（史料室部会 川原）

## おすすめ図書コーナー



おすすめ図書コーナーが新しくなりました。

おすすめの図書を気軽に手にとってご覧いただけるようになっています。

絵本なども揃っていますので、多くの人に手にとっていただければと思います。



## 内山孝子先生のお薦めブック

眞壁伍朗(まかべ・ごろう)  
『いのちに寄り添うひとへ-看護の原点にあるもの-』  
(日本看護協会出版会, 2015)

眞壁氏（1936年生まれ）は、看護師ではありません。妹さんの看護学校の入学式に付き添ったことがきっかけで看護に惹かれ、以来約50年にわたり看護の歴史を学んでおられます。ナイチンゲールやヘンダーソンらの数々の書籍やケアに関わる書籍を紹介しながら、看護や医学の歴史を振り返り、病院での医療に役立つ知識や技能が重んじられ、看護も細分化、専門化し、器機・器材に振りまわされることが多くなっている現実を指摘しています。このような現実の中で、看護はいったい何を自分たちの技能の中心にするのか、そのためにどんな援助のすべを学び、訓練しようとするのかと問いかけています。最後に、「みなさんの人生が看護をしてきて、これでほんとうによかったといえるものになるかどうかです。どうかみなさんご自身が、その結論をお出しくださいますように」と締めくくられています。

この問いに、私たち一人ひとりが、看護の歴史や先人達の看護観を参考にして、これからの看護の在るべき姿、目指す方向性を自分で考え、実践いく責任があることに気づかされます。これから看護師となる学部生の皆さん、看護実践の質をより良いものにしようと学んでいる大学院生の皆さんに、是非、一度手に取ってほしい一冊です。（内山孝子）



新着図書もわかりやすくなりました！

ぜひ、ご覧ください♪



イラスト Aya Shiraki

編集・発行

日本赤十字看護大学 図書館運営委員会